



(題字 時澤 貢 学長)

第398号  
(平成10年 2 月号)



▲ 平成10年度入学者選抜個別学力検査（前期日程）：受付開始を待つ受験生  
(平成10年 2 月25日 経済学部検査場前)

## 目 次

関係法令	3	職員消息	
学内規則	3	◆ 住所変更	16
諸会議	5	◆ 改姓	16
学 事		主要行事	16
◆ 平成10年度入学者選抜個別学力検査（前期日程） を実施	6		
人事異動	9		
学内諸報			
◆ 附属図書館長，保健管理センター所長及び 教育学部附属学校（園）長の改選	9		
◆ 開学50周年記念事業について	12		
◆ 退官記念最終講義	13		
◆ 「鉄鋼技能功績賞」を受賞 （工学部谷口工場係長）	14		
◆ インド科学大学と学部間学術交流協定を締結 （工学部）	14		
◆ 図書館職員研修会を開催（附属図書館）	15		
◆ 海外渡航者	15		

## 関 係 法 令

### (規 則)

- 人事院規則10-7 (女子職員及び年少職員の健康、安全及び福祉)の一部を改正する人事院規則(人事院10-7-3) (平10. 2. 13 官報第2319号)
- 人事院規則15-14 (職員の勤務時間、休日及び休暇)の一部を改正する人事院規則(同15-14-6) (同上)
- 人事院規則15-15 (非常勤職員の勤務時間及び休暇)の一部を改正する人事院規則(同15-15-2) (同上)

- 人事院規則9-55 (特地勤務手当等)の一部を改正する人事院規則(同9-55-45) (平10. 2. 24 官報号外第33号)

### (告 示)

- 平成10年度大学入学資格検定の施行期日等を定める件(文部27) (平10. 2. 20 官報第2324号)
- 大学入学資格検定規程の規定に基づき、知識及び技能に関する審査を定める件(同28) (同上)

## 学 内 規 則

### 富山大学教員倫理規則の制定

#### 富山大学教員倫理規則の制定理由

本学の教員と関係業者等との接触等に関し、職務執行の公正さに対する国民の疑惑や不信を招くような行為の防止を図るとともに、公務に対する国民の信頼を確保するため、所要事項を定める。

富山大学教員倫理規則を次のとおり制定する。

平成10年 2 月 20日

富山大学長 時 澤 貢

#### 富山大学教員倫理規則

##### (目 的)

第1条 この規則は、関係業者等との接触等に関し富山大学の学長、教授、助教授、講師及び助手(以下「教員」という。)が遵守すべき事項等を定めることにより、職務執行の公正さに対する国民の疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、もって公務に対する国民の信頼を確保することを目的とする。

##### (教員の基本的な心構え)

第2条 教員は、すべて公務員は全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではないことを自覚し、公正な職務の執行に当たるとともに、公共の利益の増進を目指して職

務を遂行しなければならない。

2 教員は、自らの行動が公務の信用に影響を与えることを認識するとともに、日常の行動について常に公私の別を明らかにし、職務やその地位を私的な利益のために用いてはならない。また、教員は国家公務員法等に定める手続きにより許可等を得て兼業を行う場合であっても、公務の信用を損なうことのないよう留意しなければならない。

(関係業者等との接触に関する規制)

第3条 この規則において「関係業者等」とは、次に掲げるものをいう。

(1) 当該教員の職務に利害関係のある業者及び個人(これらの者の集合体であって法人格を有しないも

のを含む。)

(2) 教員の地位等の客観的な事情から当該教員が事実上影響力を及ぼしうると考えられる他の職員の職務に利害関係のある業者及び個人（これらの者の集合体であつて法人格を有しないものを含む。）

2 教員は、関係業者等との間で、次に掲げる行為を行つてはならない。

- (1) 接待を受けること。
- (2) 会食（パーティーを含む。）をすること。
- (3) 遊技（スポーツを含む。）、旅行をすること。
- (4) 転任、海外出張等に伴うせん別等を受けること。
- (5) 中元、歳暮等の贈答品（広く配付される宣伝広告用物品を除く。）を受領すること。
- (6) 講演、出版物への寄稿等に伴い報酬を受けること。
- (7) 金銭（祝儀等を含む。）、小切手、商品券等の贈与を受けること。
- (8) 本来自らが負担すべき債務を負担させること。
- (9) 対価を支払わずに役務の提供を受けること。
- (10) 対価を支払わずに不動産、物品等の貸与を受けること。
- (11) 未公開株式を譲り受けること。
- (12) 前各号に掲げるもののほか、一切の利益や便宜の供与（社会一般の接遇として容認される湯茶の提供等を除く。）を受けること。

3 前項の規定は、家族関係、個人的友人関係等に基づく私生活面における行為であつて職務に関係のないものには適用しない。

4 第2項に規定する行為には、私的な交際、社交儀礼行為、勉強会、研究会及び講演会等に藉口して行われる行為も含まれる。

5 第2項には、対価を支払って会食する場合、あるいは、職務として必要な会議等において会食をする場合等例外となりうる場合もあるが、教員は、例外としてこれらの行為を行う場合は、第7条で定める服務管理官に事前に届け出て、その了承を得るものとする。やむを得ない事情により事前に届出をすることができない場合には、事後、速やかに服務管理官に報告しなければならない。

（関係公益法人等との接触についての準用）

第4条 教員が公益法人等設立に許認可を要する関係法人の役職員と接触する場合については、前条の規定を準用する。

（官公庁との接触についての準用）

第5条 教員が、官公庁（国の行政機関、地方公共団体

及び特殊法人等の政府関係機関）の職員と接触する場合については、国民の疑惑や不信を招くようなことの防止を基本として、職務上の必要性に留意しつつ、第3条の規定を準用する。

（違反に対する処分等）

第6条 教員に、第3条、第4条又は前条の規定に違反するおそれがあると認められる場合においては、服務管理官は、直ちに実情調査を開始するとともに、必要に応じ、第7条で定める総括服務管理官に報告する。

2 教員に、第3条、第4条又は前条の規定に違反する行為があつたと疑うに足る相当の理由がある場合においては、総括服務管理官は、服務管理官と連携して、直ちに、本人からの事情聴取を行うなど実情調査を行う。

3 第3条、第4条又は前条の規定に違反する行為があつたと認められる教員から辞職の申出があつた場合において、当該教員を懲戒処分につき相当の事由があると思料するときには、任命権者又はその命を受けた者は、辞職の承認を留保し、総括服務管理官又は服務管理官と連携して、必要な実情調査を行う。

4 第2項又は前項の調査の結果、教員に、第3条、第4条又は前条の規定に違反する行為があつたと認められた場合においては、その違反の程度に応じ、懲戒処分（免職、停職、減給又は戒告）については、教育公務員特例法第9条第1項の規定に基づく所定の手続きを経て行い、懲戒処分に至らないものについては、任命権者又はその命を受けた者が、訓告、文書厳重注意、口頭厳重注意等の人事管理上必要な措置を厳正に講ずる。

（総括服務管理官及び服務管理官）

第7条 この規則に基づく綱紀肅正の推進を図り、その実効を担保するため、総括服務管理官及び服務管理官を置く。

(1) 総括服務管理官は、学長をもって充てる。

(2) 服務管理官は、別表の左欄に掲げる組織ごとに、右欄に掲げる者をもって充てる。

2 総括服務管理官の任務は、次の各号に掲げるものとする。

(1) 綱紀肅正の推進に関し、服務管理官と密接な連携を図るとともに、必要に応じ服務管理官に対し助言、指示を行うこと。

(2) 服務管理官からの報告をとりまとめること。

(3) この規則の遵守の徹底を図ること。

3 服務管理官の任務は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 別表の左欄に掲げる組織における綱紀粛正の推進に関し、教員に対し必要な助言、指導を行うとともに、教員の相談に応ずること。
- (2) 第3条第5項の規定に基づく教員からの届出状況等について、総括サービス管理官に報告すること。
- (3) その他別表の左欄に掲げる組織において、この規則の遵守の徹底を図ること。

## 附 則

この規則は、平成10年2月20日から施行する。

## 別 表

左 欄	右 欄
人 文 学 部	学 部 長
教 育 学 部	学 部 長
経 済 学 部	学 部 長
理 学 部	学 部 長
工 学 部	学 部 長
保 健 管 理 セ ン タ ー	所 長
水素同位体機能研究センター	セ ン タ ー 長
地域共同研究センター	セ ン タ ー 長
生涯学習教育研究センター	セ ン タ ー 長
総合情報処理センター	セ ン タ ー 長



## 第3回生涯学習教育研究センター運営委員会（2月5日）

## （議 題）

- (1) 次期生涯学習教育研究センター長の選考について
- (2) その他

## 第5回入学試験実施委員会（2月13日）

## （審議事項）

- (1) 平成10年度富山大学入学者選抜試験の検査場について
- (2) その他

## 第106回構内交通対策委員会（2月18日）

## （議 題）

- (1) 富山大学五福地区構内交通規制に関する実施要項の一部改正について
- (2) 富山大学五福地区構内交通規制に関する実施細目の一部改正について
- (3) 入構許可証の発行等について
- (4) その他

## 第10回部局長懇談会（2月20日）

## （議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

## 第13回評議会（2月20日）

## （審議事項）

- (1) 富山大学教員倫理規則の制定について
- (2) 平成10年度大学祭に伴う休業日について
- (3) その他

## 第1回保健管理センター委員会（2月20日）

## （議 題）

- (1) 保健管理センター所長候補者の推薦について
- (2) その他

## 第3回就職連絡会議（2月23日）

## （議 題）

- (1) 平成10年度の就職活動について
- (2) その他

## 第5回教養教育委員会（2月24日）

## （審議事項）

- (1) 教養教育の実施体制及び担当教官の確保策について
- (2) 平成9年度教養教育経費の執行について
- (3) 平成10年度教養教育非常勤講師任用計画の一部変更及び資格審査について
- (4) その他

## 第2回留学生会館運営委員会（2月24日）

## （議 題）

- (1) 平成10年2月富山大学留学生会館入居者の選考について  
 (2) その他

- (2) 平成10年度以降の大学開放事業の在り方について  
 (3) 平成10年度夢大学 in TOYAMA'98の実施計画について  
 (4) その他

第4回大学開放事業（夢大学 in TOYAMA）実施調整委員会（2月24日）

（議 題）

- (1) 平成9年度大学開放事業の収支決算について

第9回事務協議会（2月24日）

（議 題）

当面の諸課題について



平成10年度

富山大学入学者選抜個別学力検査（前期日程）を実施

平成10年度入学者選抜前期日程の個別学力検査等が、去る2月25日（水）に各学部検査場で実施されました。

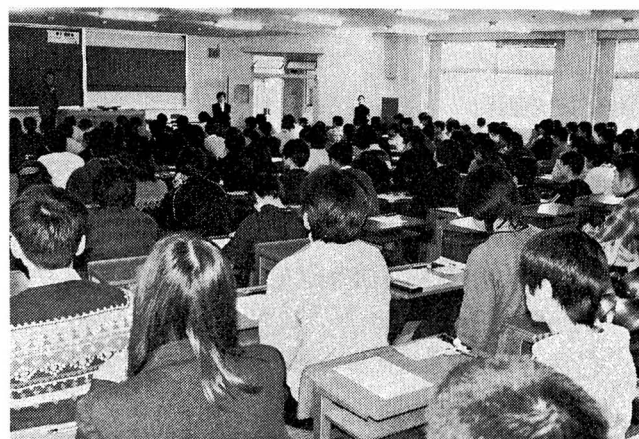
当日は、交通機関の遅滞もなく、試験開始2時間前にはすでに受験生の姿が見え始め、受付開始の午前9時には、各学部入口の前は受験生でいっぱいとなり検査は予定どおり実施されました。

前期日程の受験対象者数（個別学力検査を課さない経済学部夜間主コースを除く。）は3,646人、受験者数は3,397人（欠席者249人）で受験率は93.2%でした。また、私費外国人留学生も28人が受験しました。

なお、前・後期日程及び私費外国人留学生の入学志願者数は、次のとおりです。



▲ 出身校の教諭の激励を受け検査場へ向かう受験生



▲ 試験開始を待つ受験生（経済学部検査場）

平成10年度 入学志願者数

学部	学科・課程	平成10年度			平成9年度			備考	
		前期日数 募集人員 (人)	率 (倍)	後期日数 募集人員 (人)	率 (倍)	前期日数 募集人員 (人)	率 (倍)		
人文学部	人文学科	42	4.9	15	9.7	57	6.1		
	国際文化学科	32	4.0	12	8.7	44	5.3		
	言語文化学科	51	6.0	20	13.0	71	8.0		
	学部計	125	5.1	47	10.8	172	6.7		
教育部	学校教育系	25	2.8	10	7.8	35	4.3		
	児童福祉系	7	2.6	3	5.0	10	3.3		
	言語・社会系	25	4.1	10	39.2	35	14.1		
	自然・生活系	26	3.3	11	9.3	37	5.1		
学部	芸術・体育系	16	3.1	6	22.0	22	8.2		
	作教教育コース	10	2.8	4	10.8	14	5.1		
	環境教育コース	4	3.0	3	7.3	7	4.9		
	総合教育課程	4	3.5	3	11.3	7	6.9		
経済学部	学部計	117	3.2	50	16.4	167	7.2		
	経済学科	100	3.7	31	7.4	131	4.6		
	経営学科	76	3.9	24	7.8	100	4.9		
	経営法学科	64	7.4	20	14.4	84	9.1		
理学部	学部計	240	4.8	75	9.4	315	5.9		
	経済学科	2	21	4	11.5	6	67	11.2	
	経営学科	2	14	5	8.0	7	54	7.7	
	経営法学科	2	7	5	13.0	7	72	10.3	
工学部	学部計	6	42	14	10.8	20	193	9.7	
	数学科	246	1,186	89	4.8	335	2,042	6.1	
	物理学科	29	107	7	3.7	36	123	3.4	
	化学科	26	68	9	2.6	35	97	2.8	
工学部	生物学科	29	87	8	3.0	37	127	3.4	
	地球科学科	25	92	6	4.0	31	132	4.3	
	生物圏環境科学科	29	76	9	2.6	38	141	3.7	
	学部計	19	98	5	5.8	24	156	6.5	
工学部	電気電子システム工学科	157	528	44	3.4	201	776	3.9	
	知能情報工学科	57	203	19	3.6	76	298	3.9	
	機械知能システム工学科	53	129	17	2.4	70	209	3.0	
	物質生命システム工学科	59	183	21	3.1	80	284	3.6	
工学部	学部計	96	410	32	4.3	128	826	6.5	
	電気電子システム工学科	265	925	89	3.5	354	1,617	4.6	
	知能情報工学科	2	2	-	1.0	2	2	1.0	
	機械知能システム工学科	2	11	-	5.5	2	11	5.5	
工学部	学部計	2	6	-	3.0	2	6	3.0	
	物質生命システム工学科	2	9	-	4.5	2	9	4.5	
	学部計	8	28	-	3.5	8	28	3.5	
	学部計	273	953	89	3.5	362	1,645	4.5	
合計	918	3,688	319	4.0	1,237	6,811	5.5		

## 平成10年度富山大学入学者選抜私費外国人留学生入学志願者数

区 分		志 願 者 数 (人)		備 考	
		平 成 10 年 度	平 成 9 年 度		
人 文 学 部	人 文 学 科		5	2	
	国 際 文 化 学 科		2	4	
	言 語 文 化 学 科		4	6	
	計		11	12	
教 育 学 部	学校教育教員 養成課程	学 校 教 育 系	0	—	
		障 害 児 教 育 系	0	—	
		言 語 ・ 社 会 系	1	—	
		自 然 ・ 生 活 系	0	—	
		芸 術 ・ 体 育 系	1	—	
	総合教育課程	情 報 教 育 コース	0	—	
		環 境 教 育 コース	0	—	
		生 涯 スポーツコース	0	—	
計		2	2		
経 済 学 部	昼間主 コース	経 済 学 科	0	6	
		経 営 学 科	10	12	
		経 営 法 学 科	2	1	
		計	12	19	
理 学 部	数 学 学 科		0	0	
	物 理 学 科		0	0	
	化 学 学 科		0	0	
	生 物 学 科		0	0	
	地 球 科 学 科		0	0	
	生 物 圏 環 境 科 学 科		0	1	
計		0	1		
工 学 部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		3	—	
	知 能 情 報 工 学 科		3	—	
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科		3	—	
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科		1	—	
	計		10	11	
合 計		35	45		

志願者総数35人の国籍別内訳

中国 25人, マレーシア 4人, インドネシア 1人, 台湾 5人



# 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	10. 3. 1	広瀬 貞樹	助教授（工学部）	教 授（工学部）
	〃	中嶋 芳雄	〃（〃）	〃（〃）
臨時的任用	10. 2. 9	高松 典子		文部事務官（人文学部・理学部） （～10. 11. 30）
臨時的任用の更新	10. 2. 4	高桑 幸子	教 諭（教育学部附属養護学校）	臨時的任用を更新する（～10. 3. 31）
辞 職	10. 2. 28	舒 衛民	助教授（水素同位体機能研究センター）	辞 職
退 職	10. 2. 7	高松 典子	事務補佐員（人文学部・理学部）	平成10年2月6日限り退職
	10. 2. 21	近藤 俊彦	事務補佐員（附属図書館情報サービス課）	平成10年2月20日限り退職
	〃	大岸 里美	〃（〃）	〃
	〃	尾下 成敏	〃（〃）	〃
	〃	安部 公子	〃（〃）	〃
	〃	島先 厚至	〃（〃）	〃
	〃	大橋 正浩	〃（〃）	〃
	〃	高瀬 雅美	〃（〃）	〃
	10. 3. 1	澤瀉いづみ	教務補佐員（人文学部・理学部）	平成10年2月28日限り退職
併 任	10. 2. 20	小谷 仲男	教 授（人文学部）	附属図書館長・評議員（～12. 2. 19）
育児休業	10. 2. 9	中村 良恵	文部事務官（人文学部・理学部）	育児休業（～10. 11. 30）

# 学 内 諸 報

## 附属図書館長に小谷人文学部教授を選出



任期は、平成10年2月20日から2年間。

龍澤 弘附属図書館長の任期が平成10年2月19日で満了することに伴い、次期附属図書館長候補者の選考が、去る平成9年12月19日（金）開催の評議会において行われ、小谷仲男人文学部教授が選出されました。

小谷教授は、昭和35年3月京都大学文学部を卒業、同37年3月京都大学大学院文学研究科修士課程を修了、同40年3月京都大学大学院文学研究科博士課程を単位取得退学後、同49年4月鳥取大学教育学部助教授に採用され、同56年4月富山大学人文学部教授となり、現在に至っています。

専門は、東洋史学。

福井県出身。

(就任の抱負)

地方国立大学の附属図書館は、大学のみならず地域の学問研究の拠点になってほしいと願っています。限られた予算のなかで、その力をどのように維持発展していくかは、なかなか頭の痛いところです。今後とも蔵書の充実にご協力くださいますようお願いいたします。

幸い瀧澤弘前館長をはじめとする関係者のご尽力で、図書館の増築が実現し、ほとんどの蔵書が開架方式でゆったりと閲覧できるようになりました。利用者の声を聞きながら、図書館の一層の充実、改善に努めたいと思います。

## 保健管理センター所長に中村教授を再選

保健管理センター所長の任期が、平成10年3月31日で満了することに伴い、次期センター所長候補者の選考が、去る2月20日(金)開催の保健管理センター委員会において行われ、中村 剛教授が再選されました。

任期は、平成10年4月1日から2年間

中村教授は、昭和41年3月金沢大学大学院医学研究科を修了後、公立病院勤務を経て、同42年10月富山大学教育学部助教授に採用され、同47年12月同教授、同51年4月保健管理センター教授となり、平成8年4月1日から保健管理センター所長を併任され、現在に至っています。

専門は、精神医学、医学博士(金沢大学)。

石川県出身。

(就任の抱負)

保健管理センターが設置されてから、20数年が経過しました。その間、入学試験制度の変更、教養部の廃止に伴う4年一貫教育、大学院生と留学生の増加、さらには、エイズに関する問題など、学生生活をとりまく環境はいやおうなしに変わってきました。学生の健康管理の在り方も、そうした事柄を踏まえて対処していかざるを得ません。

小さな組織ですが、学生の健康増進のために、できるかぎりの努力をしていきたいと思います。

皆様のお力添えを、こころからお願い申し上げます。

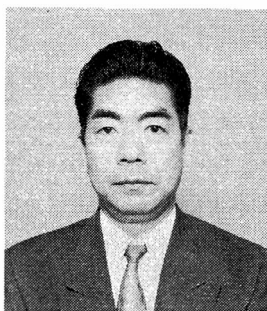
## 次期教育学部附属学校(園)長の改選

教育学部附属小学校長、同中学校長、同養護学校長及び同幼稚園長の任期が、平成10年3月31日で満了することに伴い、教育学部教授会は、去る2月12日(木)に次期附属学校(園)長候補者の選挙を行いました。その結果、附属小学校長に安藤修平教授、同中学校長に中村義

朗教授、同養護学校長に中井学教授、同幼稚園長に長谷川総一郎教授がそれぞれ選出されました。

安藤教授、中井教授は新任、他の2名は再選となり、任期は、平成10年4月1日からそれぞれ2年間。

## 教育学部附属小学校長に安藤教授を選出



次期附属小学校長の安藤教授は、昭和35年3月北海道学芸大学札幌分校を卒業後、公立学校教員を経て、昭和58年4月静修短期大学助教授、平成2年4月同大学教授、平成3年4月文部

省初等中等教育局主任教科書調査官及び平成4年4月文部省初等中等教育局視学官を併任、平成8年4月富山大学教育学部教授となり、現在に至っています。

担当は、国語科教育。

北海道出身。

**(就任の抱負)**

社会の激しい変化に伴い、あらゆる分野での根本的改革が求められており、教育もまた例外ではありません。中教審や教課審の中間まとめにも示されましたように、21世紀に求められる人間像や学力感は従来からの大いなる転換を求めています。

このような重要な時期に、富山大学教育学部附属小学校長として何をどうすべきか甚だ心もとない次第ですが、幸い附属小学校は、実践を創造的に展開するエネルギー

とそれを支える輝かしい伝統が継承されています。これらの良さを生かし、さらに発展させるためには、大学や地域との実質的連携が一層重要になるものと思われます。

こうした根本的改革や実質的連携は、口では言いやすく、行うにはかなりの困難が予想されるようですが、何よりも教員及び事務職員の皆様方のご協力を戴かなければ一歩も進めることができません。どうぞより一層のご指導とご鞭撻をお願いいたします。

### 教育学部附属中学校長に中村教授を再選



次期附属中学校長の中村教授は、昭和35年3月富山大学教育学部を卒業後、公立学校教員を経て、昭和54年4月富山大学教育学部講師、同56年4月同助教授、平成元年10月同教授となり、平成8年4月から附属中学校長

を併任され、現在に至っています。

担当は、音楽科教育。

石川県出身。

**(就任の抱負)**

このたび、昨年創立50周年を迎え、記念式典や記念事業を盛会裡に終えた附属中学校の校長に再選されました。今、中学校は、中学生による諸々の事件や不登校生徒

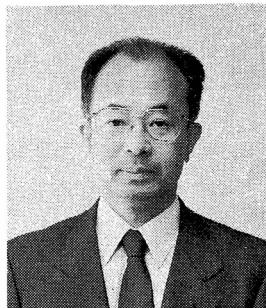
の諸問題など、世相を反映したいろいろな難問が山積しております。一方では、学校五日制など、21世紀を拓く教育課程やその取り組み方、さらには、本校では教育実習をはじめ、学部改組による附属学校の在り方などの諸課題にも当面しております。

いずれにしても、人間の生き方に教育の原点を求めながら、それらが教育の実践の中でどのように具体化され、学ぶ側が求めている教育に対して、教育活動の活性化が図られなければなりません。

もちろん、バランスのとれた教育と研究の二本柱を確立しながら、附属学校の使命を果たさねばならないことはいまでもありません。

諸先生方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

### 教育学部附属養護学校長に中井教授を選出



次期附属養護学校長の中井教授は、昭和35年3月富山大学教育学部卒業、同35年7月富山大学教育学部助手、同43年3月同講師、同47年1月同助教授、同60年4月同教授となり、現在に至っています。

担当は、技術教育。

富山県出身。

**(就任の抱負)**

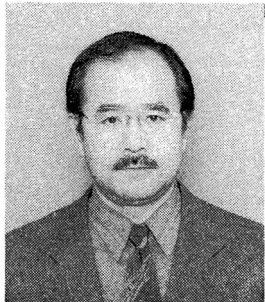
近年、教員養成大学・学部と附属学校(園)との在り方が再検討されていますが、学校教育において養護学校教育全般が現在のかたちに整えられてからの歴史は比較的浅く、研究実践校としての附属養護学校の必要性は大きいものと考えます。公立学校教育職員志望学生の就職はきびしい状況にあります。教育学部学生が他に比して有する利点の一つは、附属学校において教育実習を受けることができる点にあると考えられます。最近の教員採用選考検査における傾向として、与えられた課題に柔

軟に即応して、高度な授業ができる能力が求められているようです。附属養護学校が有する能力を十分に活かして、教員養成大学・学部でしかできない高度な教育実習

を行えたらと考えています。

ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 教育学部附属幼稚園長に長谷川教授を再選



次期附属幼稚園長の長谷川教授は、昭和43年3月富山大学教育学部を卒業後、公立学校教員を経て、昭和48年4月富山大学教育学部助手、同52年4月同講師、同56年4月同助教授、平成4年5月同教授となり、平成8年4月から附属幼稚園長を併任され、現在に至っていません。

担当は、美術科教育。

富山県出身。

(就任の抱負)

このたび、園長再選となりましたが、関係の皆様にはあらためて感謝を申し上げますとともに、その職責の重さ

に身を引き締めております。

財政構造改革、教員養成定員5,000人削減のもとで附属学校の存在が問われ、少年の凶悪事件を契機に幼児教育の在り方が見直されています。このような状況のおり、附属幼稚園ではこれまでの保育研究の一層の充実のほか、地域社会や保護者へ幼児教育の大切さを訴えてきました。スタッフによる地域の保育研究支援、園活動や子育てへの父親参画の促進、近代美術館の子供展への参画、大学公開講座への参加計画など。これからは学部の先生方との交流をもっと広げたいと思っております。教育実習や保育研究会にはもちろん、平常でも気楽に来園されてエネルギーとアイデアをいただき、附属幼稚園とその教育を見直し、存在感を高めていきたいと思っております。

関係各位のご理解と支援をお願い申し上げます。

## 富山大学開学50周年記念事業

### ○ 富山大学開学50周年記念事業の概要

富山大学は、昭和24年に、富山高等学校、富山師範学校、富山青年師範学校、富山薬学専門学校、高岡工業専門学校を母体として、文理学部、教育学部、薬学部、工学部の4学部によって構成される新制大学として発足し、平成11年に開学50周年を迎えることになります。この間、教育研究体制が整備拡充され、現在では、人文学部、教育学部、経済学部、理学部、工学部の5学部、人文科学研究科、教育学研究科、経済学研究科、理学研究科、工学研究科の5大学院研究科、さらに水素同位体機能研究センター、地域共同研究センター、生涯学習教育研究センター、総合情報処理センター及び保健管理センターを設置する総合大学に発展しました。

このたび、開学50周年を迎えるに当たり本学の一層の発展を期して、「富山大学開学50周年記念事業委員会」

において、開学50周年記念事業として下記事業を決定しました。今後、同委員会専門委員会において、具体的な実施案の検討を開始します。

#### 1. 開学50周年記念式典等

- (1) 記念式典の挙行
- (2) 記念講演会の開催
- (3) その他の記念行事

#### 2. 富山大学50年史の刊行

#### 3. 国際交流活性化推進事業の実施

- (1) 国際交流シンポジウムの開催
- (2) 留学生の受入及び派遣
- (3) 研究者の受入及び派遣

#### 4. 教育研究設備の充実

(図書の実充)

## ○ 富山大学開学50周年記念事業後援会の発足

富山大学開学50周年記念事業を推進するため、各界有志により「富山大学開学50周年記念事業後援会」を組織していただけることになりました。その設立発起人会及び第1回理事会が、平成10年2月4日（水）に富山第一ホテルにおいて開催され、会長に(株)富山県経営者協会会長の本多正道(株)不二越取締役社長が選出されるとともに、副会長、顧問、理事及び監事が選出され、同後援会の会則等が決定されました。

「富山大学開学50周年記念事業後援会」は、富山大学の開学50周年記念事業を支援するため、広く募金を呼び掛けることとなりますので、ご協力くださるようよろしくお願い申し上げます。



▲ 設立発起人会

## 退官記念最終講義

御退官される下記教官の最終講義が行われ、多数の学生・教職員等が終始熱心に聴講しました。

## ○教育学部 中川 眸 教授

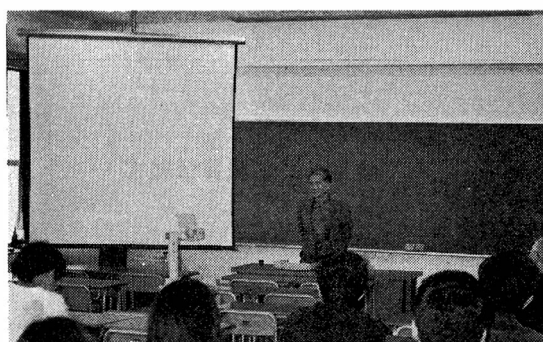
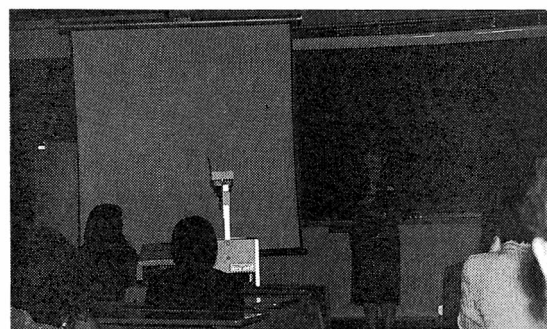
2月18日（水）15:00～16:30

教育学部第1棟5番教室

「家庭科教育の今日的課題

－食物教育を中心として－

→



## ○教育学部 笹尾 靖也 教授

2月23日（月）15:00～16:30

← 教育学部第3棟11番教室

「分数と少数」

## ○経済学部 伊藤 格夫 教授

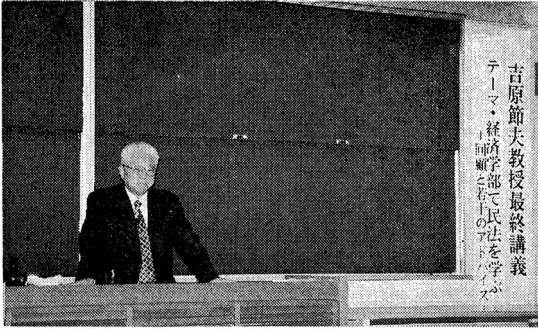
1月29日（木）13:15～14:45

経済学部201番教室

「企業人材育成論」

→





○経済学部 吉原節夫 教授

1月30日(金) 15:00~16:30

← 経済学部201番教室

「経済学部で民法を学ぶ

—回顧と若干のアドバイス—

○理学部 塩谷俊作 教授

2月13日(金) 15:00~16:30

理学部2号館10番教室

「新しい生理活性物質を求めて」

## 工学部谷口工場係長が「鉄鋼技能功績賞」を受賞

工学部谷口泰一工場係長が、日本鉄鋼協会から「鉄鋼技能功績賞」を受賞され、その伝達式が、去る2月6日(金)に工学部長室において行われました。

この賞は、工学部実習工場の研究用実験器具の考案、製造及び学生の機械工作実習の指導など鉄鋼及びその周辺領域に関する業績が高く評価されたものです。

このたびの受賞に際し、谷口係長は「私たち実習工場のメンバーの永年にわたる地道な努力が、評価されたようです。」と喜びを語っておられました。



▲ 鉄鋼技能功績賞伝達式

## —インド科学大学と学部間学术交流協定を締結—

工学部は、去る2月4日(水)にインド科学大学との間で学术交流に関する協定(学部間)を締結しました。

調印は、工学部からインド科学大学へ協定書を郵送する方法で行われました。

工学部では、中華人民共和国山東工業大学に次いで2

番目の学部間協定締結となり、今後も他の大学との学术交流協定締結を予定しており、教員及び学生の交流、情報交換などを積極的に行うことにより国際交流の活性化を期待しています。

## 図書館職員研修会を開催

附属図書館では、去る2月26日（木）に「電子図書館化」をテーマに職員研修会を開催しました。

講師の慶応義塾大学湘南藤沢メディアセンター小川治之事務長から、「大学図書館における電子図書館化の現状と課題について」と題した講演があり、湘南藤沢キャンパスでの図書館と計算機センターを統括する立場から情報化社会における情報コーディネータとしての図書館員の在り方について示唆に富む話がありました。続いて、経済学部坂本江見助手（総合情報処理センター勤務）から、「インターネットによる貴重資料データベース公開への取り組みについて」と題して、本学における資料の電子化について事例報告がありました。

今回は、富山県図書館協会大学・短大・高専部会の研修会を兼ねたため、県内の他の大学・短大などの図書館

職員を含めて約40人の参加者があり、非常に有意義な研修会となりました。



▲ 講演をする小川事務長

## 海 外 渡 航 者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	人文学部	助教授	竹内 潔	ポルトガル ギニア・ビサウ フランス	「アフリカにおける民族芸術の文化人類学的研究」に関する調査	10. 2. 5 } 10. 3. 20
	工学部	助教授	伊藤 研策	アメリカ合衆国	ゴードンリサーチ会議に出席，研究発表	10. 2. 7 } 10. 2. 14
	経済学部	教授	飯田 剛史	アメリカ合衆国	在日コリアンの社会的ネットワークと文化動態に関する資料収集及び研究打合せ	10. 2. 16 } 10. 3. 2
	〃	助教授	大森 義明	アメリカ合衆国	「1998年アメリカ東部経済学会」に出席，研究発表等	10. 2. 23 } 10. 3. 3
	理学部	助教授	栗本 猛	大韓民国	Bの物理に関する研究打合せ	10. 2. 25 } 10. 3. 2
海外研修	工学部	教授	岩瀬 牧男	インド	第5回環太平洋ウォータージェット・テクノロジーに関する国際会議に出席，研究発表	10. 2. 1 } 10. 2. 8
	人文学部	外国人教師	ザビーネ・ローベ	ドイツ	外国語としてのドイツ語授業における文学テキスト並びに外国理解に関して創造的に研究するゼミナールに出席，研究打合せ等	10. 2. 11 } 10. 3. 5
	〃	外国人教師	ロゴズナヤ ニーナ	ロシア連邦 イスラエル	言語学研究資料収集及びイスラエルにおけるロシア語教育の実態調査	10. 2. 27 } 10. 3. 24

## 職 員 消 息

## &lt;住所変更&gt;

部 局 名	官 職	氏 名
人 文 学 部	助 教 授 (行動文化)	呉 人 惠
附 属 図 書 館	事 務 補 佐 員 (情報サービス係)	山 根 祐 子

## &lt;改 姓&gt;

部 局 名	官 職	氏 名	旧 姓
附 属 図 書 館	事 務 補 佐 員 (情報サービス係)	山 根 祐 子	中 川

## 主 要 行 事

## 本 部

- 2月2日 産学連携等研究費説明会（東京医科歯科大学）
- 4日 開学50周年記念事業後援会設立発起人会・理事会（富山第一ホテル）
- 5日 第8回国際交流委員会留学生部会
- 5日～13日 平成9年度学内会計監査
- 6日 平成9年度国立大学学生部長会議（東海大学）
- 10日 第12回教養教育委員会管理運営専門委員会
- 13日 第3回教養教育委員会企画専門委員会
- 16日 学長と教養教育委員会3専門委員会委員長との打合せ
- 17日 国立大学協会第7常置委員会（学士会館）
- 19日 平成9年度全国公務員レクリエーション共同事業富山地区ボーリング大会（トヤマゴールデンボール）
- 20日 任用担当官会議（名古屋合同庁舎）  
黒田講堂吊物操作説明会
- 23日 第4回自己点検評価委員会教育活動専門委員会
- 23日～24日 給与実務担当者研修会（名古屋合同庁舎）
- 24日 第6回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会

## 第9回国際交流委員会留学生部会

- 25日 平成10年度富山大学入学者選抜個別学力検査（前期日程）

## 人 文 学 部

- 2月6日 教授会  
予算委員会
- 10日 教授会  
教授会（人事）  
人文科学研究科委員会
- 18日 教授会  
教授会（人事）
- 24日 予算委員会（持ち回り）

## 教 育 学 部

- 2月1日 平成10年度附属中学校入学者第1次選考（学力検査）
- 3日 教育実習検討委員会  
教育実習委員会
- 4日 学部改組ワーキンググループ会議  
学部予算委員会



- 附属小学校入学者第2次選考（抽選）  
5日 学部学生生活委員会  
附属中学校入学者第2次選考（抽選）  
9日 学内会計監査  
学部入学試験委員会  
10日 平成10年度教育学研究科入学者選抜試験  
12日 研究科委員会小委員会  
研究科委員会  
教授会  
人事教授会  
日本教育大学協会理事会（東京学芸大学）  
13日 教育実習検討委員会  
教育学研究科合格者発表  
17日 学部改組ワーキンググループ会議  
附属養護学校教育実践研究会  
19日 附属学校の在り方に関する教育学部検討委員会  
学部自己点検評価委員会  
20日 学部教務委員会  
24日 学部紀要編集委員会  
学部改組ワーキンググループ会議

### 経済学部

- 2月2日 財務委員会  
3日 学部教務委員会  
人事教授会  
研究科委員会  
教授会  
5日 学内会計監査  
10日 就職ガイダンス  
17日 学部教務委員会  
18日 学部留学生委員会  
人事教授会  
研究科委員会  
教授会  
23日 広報委員会  
26日 夜間主コース運営委員会

### 理学部

- 2月2日 学部情報化対策委員会  
4日 理工学研究科設置準備委員会理学部会  
6日 学部排水安全委員会

- 12日 理学研究科委員会  
教授会  
人事教授会  
学部施設委員会  
13日 学部学生生活委員会  
23日 学部教務委員会  
24日 学科長会議  
学部排水安全委員会

### 工学部

- 2月2日 学部運営委員会  
3日 機種選定委員会（誘電体測定器）  
5日 機種選定委員会（誘電体測定器）  
6日 日本鉄鋼協会鉄鋼技能功績賞伝達式  
10日 機種選定委員会（誘電体測定器）  
12日 学部教務委員会  
国立4大学工学部事務長懇談会（福井大学）  
13日 教授会  
専任教授会  
研究科委員会  
博士後期課程委員会  
16日 愛知県立安城高等学校来学（施設見学）  
19日 理工学研究科設置準備委員会  
23日 入学試験説明会

### 地域共同研究センター

- 2月12日 技術研究会（材料部会）研究発表会  
23日 先端技術講演会  
24日 地域共同研究センター運営委員会

### 生涯学習教育研究センター

- 2月12日 第3回生涯学習教育研究センター公開講座専門委員会  
19日 東海・北陸地区放送利用の大学公開講座第6回連絡会議（名古屋大学）

### 総合情報処理センター

- 2月13日 第4回広報研修専門委員会

編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あけぼの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電 話 (24) 1755(代)